

『日本教会史』 クラス予定

担当；船橋 誠

6/21/2022

テキスト；

- ・ 柳田友信著『日本基督教史』（E.E.ケアンズ著『基督教全史』巻末付属）＊
- ・ 諸資料プリント（クラスで配布）

参考資料；

- ・ 五野井隆史著『日本キリスト教史』吉川弘文館
- ・ 鈴木範久著『日本キリスト教史物語』教文館
- ・ 日本キリスト教歴史大事典編『日本キリスト教史年表』教文館

=====以下、辞典類=====

- ・ 『キリスト教大事典』教文館
- ・ 『岩波キリスト教辞典』岩波書店
- ・ 『日本キリスト教歴史大事典』教文館
- ・ 『日本史人物辞典』山川出版社
- ・ 『日本史辞典』角川書店

（＊＝自家製脚注付きの印刷プリントを配布します。）

学びの目的；

日本のキリスト教史を学ぶ理由はいくつか存在する。一つには、われわれの自国に対して、生ける唯一の真の神が、今に至るまでどのようにお働きくださり、そして導いて来られたのかを知ることの意義がある。歴史というものを俯瞰するとき、何らかの歴史観をもっての考察とならざるを得ないが、多くの日本の歴史解説書では、キリスト教的あるいは有神論的な視点が欠落していることが多い。いったいキリスト教的に（あるいは信仰者として）、日本という国の歴史を見たらどうなるのか、という考察に挑むことが必要があるし、探求していく価値は大いにあると思う（参考；聖書という歴史的書物にも、当然ある種の歴史観が含まれている）。

二つ目に、日本宣教の歴史を知ること、私たちの立っている地点を確認することである。過去の歴史が分かれば、現在の日本の教会のあり方を、客観性をもってより良く理解し、あるいは反省し、あるいは方向性を見極めることが可能となる。当然のことながら、最大の疑問である「日本の人々の多くはなぜ、キリスト教をこれまで受容して来なかったのか」というテーマへの追求がある。しかし問題は、日本の教会史がまだまだ未開拓の分野であることだ。特にその歴史観や総合的理解において十分とは誰も思わないだろうし、さらには、歴史資料の収集の点でも未知のものが多くある。また膨大な日本の歴史や文化理解が要求されるということでもある。そのような条件にかなう歴史家が現れることを求めなければならないが、ともあれ、そんな専門家が生まれることを、ただ手をこまねいて待っているばかりでは、何も進めることができない。われわれにできることは、たといそれが不完全で僅かな知識量ではあっても、宣教の視点で日本の歴史を少しでも辿り、振り返って悔い改め、次に今を見、そしてこれからの未来を展望していくことではないだろうか。

最後に、三つ目として、過去の日本宣教史上におけるキリスト者たちの信仰の足跡を見ることで、われわれの信仰の情熱を再燃させ、力強い激励を受けることである。宣教においても、キリスト者としての生活においても、どの時代の中にも、その時代特有の課題があり、信仰者たちは、ときに苦しみ、惑い、祈り、戦って来た。現在の自分の所属している群れを正統的なものであると安心を

得ようとして、他のキリスト者たちの思想や行動を歴史的・文化的な文脈から正しく理解せずに批判することは慎まなくてはならない。今日の私たちにとって、彼らの姿はさまざまな意味において、日本にあってキリスト者であることの意味を再考させるための大きなヒントを与えるであろう。

課題と考査；

① 読書レポート

下記ジャンルよりそれぞれ1冊ずつを選んで、読書レポート提出（9月2日締切）。

1冊につき400～800字程度。

- ・ キリシタン時代に関わる書物から1冊選ぶ
- ・ 幕末明治期から戦後までの教会史に関係する書物から1冊選ぶ

② テスト等

学期末考査、もしくは期末レポート提出

授業スケジュール；

月日	オリエンテーション、キリシタン以前	(第一回)
月日	キリシタン時代①	(第二回)
月日	キリシタン時代②	(第三回)
月日	キリシタン時代③	(第四回)
月日	キリシタン時代④	(第五回)
月日	キリシタン時代⑤	(第六回)
月日	キリシタン時代⑥	(第七回)
月日	明治時代①	(第八回)
月日	明治時代②	(第八回)
月日	明治時代③	(第九回)
月日	明治時代④	(第十回)
月日	大正昭和前期時代①	(第十一回)
月日	大正昭和前期時代②	(第十二回)
月日	太平洋戦争以後①	(第十三回)
月日	太平洋戦争以後②	(第十四回)
月日	期末テスト	

参考図書

キリスト教の歴史全般（日本教会史を含むもの）

- ・ 菊地榮三、菊地伸二共著『キリスト教史』 教文館
- ・ E.E.ケアンズ著『基督教全史』 聖書図書刊行会
- ・ 上智大学中世思想研究所監修『キリスト教史』 1～11 平凡社ライブラリー
- ・ 園部不二夫著「図説キリスト教史」 創元社
- ・ 藤代泰三著『キリスト教史』 講談社学術文庫

日本のキリスト教史

- ・ 五野井隆史著『日本キリスト教史』 吉川弘文館
- ・ 鈴木範久著『日本キリスト教史物語』 教文館
- ・ 中村敏著『日本キリスト教宣教史』 いのちのことば社
- ・ 日本キリスト教歴史大事典編『日本キリスト教史年表』 教文館

キリシタン関係

- ・ 片岡弥吉著『キリシタン殉教史』 智書房
- ・ 助野健太郎、山田野理夫編『キリシタン 迫害と殉教の記録』 上中下 フリープレス
- ・ 松田毅一、川崎桃太共訳「完訳フロイス日本史」 1～12 中公文庫
- ・ 松田毅一著『南蛮のバテレン』 朝文社
- ・ 結城了悟著『キリシタンになった大名』 聖母文庫
- ・ 若桑みどり著『クアトロ・ラガッツィ』 上下 集英社文庫